

みなのご意見箱に寄せられた意見と町の回答（令和5年4月～9月）

番号	提言等の要旨	回答要旨
1	【町議会議員の定数について】 傍聴に行っ感じたこととして、発言者が決まっていて、任期4年間で質問しない方もいる。原因のひとつに無投票で当選していることが問題ではないのか。町の人口が減っているので、議員も減らしてよいのではないかと。ぜひ、2名は減らしてほしい。隣の長瀬も減らすので、次の選挙には定員10名にしてください。	議員定数の削減につきましては、長瀬町をはじめ全国でも削減を進めている自治体がございます。一方で、議会は住民を代表する機関として、町意思を決定する機能や執行機関を監視する機能等を担っていることから、適切な議員定数を設ける必要があります。 頂いたご提案は議会事務局に情報提供し、今後の参考とさせていただきます。
	【ふれあいプール・ホットについて】 13日に説明会を実施し、多くの意見が有りましたが、配布資料には町長の考えのみの記載であり偏った文面になっている。両者の意見をお知らせする絶好の機会であったと考えている。 なぜ、多くの町民から出された意見・提案を記載しないのか？もう少し広い心を持ってませんか？	温水プールに関する町の方針決定は、町民の皆様にとってとても重要なことであり、町の方針をできるだけ多くの町民の皆様にお伝えすることが必要と考えております。 しかし、それが故、温水プールの現状について皆様と共通認識を持つことができなかったのでは、と反省をしております。 3月の町民説明会と今回の資料配付はいずれも、町民の皆様へ町の方針をお伝えする最初の一步と考えております。それぞれでいただいたご意見やご質問につきましては、今後も真摯にお答え申し上げたいと考えております。
	【ふれあいプール・ホットについて】 13日の説明会で配布された資料は貧弱。この資料で判断する事は困難、想定可能な事を調べ上げた上での資料でなければ説得は出来ません。 上尾市の教育委員会”上尾市立学校の水泳授業及びプール施設のあり方検討報告書”のような調査報告が必要と思うが如何でしょうか？ 上尾市の教育委員会の資料をご覧になり、皆野町の資料と比較した感想をお聞かせください。	説明会資料は、町の方針をできるだけわかりやすく皆様にお伝えすることを主眼に置き、細かな記述をできるだけ避け要点に絞って作成したものです。 しかし、それが故、温水プールの現状について皆様と共通認識を持つことができなかったのでは、と反省をしております。 上尾市の報告書は立派なものです、本町の説明会資料とは、その内容、目的を異にしておりますので、一概に比較できるものではないと考えております。
	【ふれあいプール・ホットについて】 半年で継続から廃止に急転換した理由が分かりません、説明して下さい 運用資金の問題は今始まったことではありません、町長も十分承知ですよね	令和4年第2回皆野町議会定例会において、副町長並びに教育長が「存続の在り方については、今後総合的に検討する」旨答弁しており、町として存続以外の可能性も検討していく姿勢を示しております。9月の第3回の定例会におきましても、副町長、教育次長が検討中との答弁をしております。これはもちろん、プールの効能も運用に多額の経費が掛かることも両方を承知したうえでのことです。 そのようななかで、11月に天井材の一部が落下するという事故が起りました。私はこれを、施設の安全性を脅かす事象の予兆と捉えました。安全性への懸念を払拭するためには、多額の経費が掛かります。そして多額の経費をかけ改修を行うということは、これまでと同様に数千万円にも及ぶ収支不足を今後も継続することを意味します。そこで私は、今こそが運営継続か終了かの判断が必要と考え、決断をしたものでございます。
2	【ふれあいプール・ホットについて】 ”温水プール運営終了に伴う・・・”と公表する前に、例えば”温水プール運営検討会”などの名称で開始する事は出来なかったのでしょうか？ 温水プール運営終了に伴う・・・ではなく”温水プール運営検討会”として町民から意見を聞くとして最終的に運営継続、廃止、またはその中間案、をまとめて上げの選択、これが善策の選択だと思えます。 このようなりやりで進めればこんな事にはなっていないと思います。 大した検討もせず”苦渋な選択をしました”など簡単に”苦渋の選択”という言葉を使ってほしくはありません。そんな簡単な軽い言葉ではありませんよ	方針決定までのプロセスが疎かだったのでは、とのご指摘は真摯に受け止めております。 しかしながら、今後、町民皆様の生活を守っていくためには、高齢化により運転ができなくなった方等への移動支援、給食費無償化をはじめとする子育て支援の充実、不妊治療費助成の拡大などの施策を実施していく必要があります。こうした施策の実施には、既存事業の見直しが必要であり、多額の収支不足を生んでいる温水プールの運営継続は財政的に困難です。 こうしたことから、財政運営も含め町の将来に責任ある立場として、温水プールについては、もはや継続するという選択肢はとりえずに決断し、ご指摘の組織体の立ち上げは見送りしました。 温水プールを愛し、生活の一部としている多くの方がいらっしゃることは重々承知しておりますし、存続を望む声に応えたいと思ひもありました。しかし、温水プールの運営終了を決断せざるを得ませんでした。これこそが、私の苦渋の決断でございました。
	【ふれあいプール・ホットについて】 ”ふれあいプール・ホット運営終了に伴う町民説明会資料（要約版）”の中にも”天井の一部落下があり 安全上の重要な問題”と書かれていますが、実態を調べると”その旨報告しても予算がないからと復旧工事が出来ない”が現状の様です 安全の問題は今回の廃止うんぬんとは全く関係のない問題です。安全対策は最優先、町長はどのようにお考えでしょうか？	安全性の懸念の払拭には多額の経費が必要であり、そのことは、これまでと同様に数千万円にも及ぶ収支不足を今後も継続することを意味すると考えておりますので、別の問題とは捉えておりません。 繰り返になりますが、天井材の一部落下は、予兆と捉えています。施設にまだ余力のある今が決断のときと考えたものでございます。
	【ふれあいプール・ホットについて】 いまでも遅くは有りませんが、例えば”温水プール運営検討会”や”温水プール継続検討会”などの名称に 変更し、1からやり直しませんか？ 柴崎さんのやられているこのやり方が正しいとお考えでしょうか？ 私には町民無視見えます、このやり方で町政を行われてはなりません。 町民の心が柴崎さんから離れてしまいます。（本当に心配しています） 昨年の選挙中に持っていた決意、お話ししていた事を忘れないで町政を行ってください。	温水プール運営終了については、安全性への懸念などから早期に決断する必要があると判断いたしました。 今後の町政運営につきましては、早期に課題認識をしたうえで関係の皆様の声をしっかり聴き、皆様にお約束した活力あるまちづくりに邁進していく所存でございます。
3	【ふれあいプール・ホットの閉鎖について】 子供3人が、水泳のスポーツに入っており、年間を通してプールを利用しています。 来っははまだ未就学児ですし、できるなら、存続してもらいたのですが、過疎化が深刻であり、財源の確保が難しいのも理解できます。 存続の案 ①長瀬町や、または秩父都市の共有の施設にできないか？ 閉鎖の場合の代替案 ①秩父市民プール、もしくは近隣の民間施設を利用の際の補助 ②皆野小学校のプールに屋根を設け、夏季の土日や夏休みの期間は、町民に開放 これだけの自然に恵まれながら、今の子供たちは、整った施設でしか身体を動かす機会が無いように思います。 子供らが楽しめるような町にしていきたいです。	また、貴重なご提言を誠にありがとうございます。 存続の案①都市の共有の施設に、とのご提案ですが、説明会でも同様のご質問を受け、難しい旨お答え申し上げます。耐用年数が近くなり老朽化の進んだ施設を他市町と共有化することは、現実的に困難と考えております。皆野町が逆の立場であったら、と考えるとご理解いただけるのではないのでしょうか。 運営終了後の代替案のご提案、心より感謝申し上げます。ご提案のような皆様のサポート体制を検討してまいりたいと考えております。
4	【町民プール「ホット」の存続について】 町民プール「ホット」のお蔭で、転居して来て友人や知人の少ない我家はここで少しづつ交流を広げる事ができました。子ども達もスポーツのスイミングを毎年利用させて頂いています。スポーツでスイミングが習えるこの環境は他の市町村に無い特別な物だと思えます。夏休みに小学生だけで行けるプールが無くなるのは本当に残念でなりません。是非、存続を強く希望します。よろしくお願いします。（母） 中学の水泳愛女子会で3年間お世話になりました。私は水泳が大好きでこれからも利用を続けたいので、プールはなくならないでほしいです。 2年生からプールをやったのでとてもプールや泳ぐのが大好きです。なので、ふれあいプールホットをこれからも続けてほしいです。	オープンから30年、皆野町に温水プールがあることは今や当たり前になっていますし、温水プールの効果や効能、ご利用の皆様への思いは痛いほどわかっていくつもりです。 しかしながら、今後、町民皆様の生活を守っていくためには、高齢のため自動車等の運転ができなくなった方等の移動支援、給食費無償化をはじめとする子育て支援の充実、不妊治療費助成の拡大などの施策を実施していく必要があります。こうした施策の実施には、既存事業の見直しが必要であり、多額の収支不足を生んでいる温水プールの運営継続は困難と考えた次第です。 どうぞご理解いただきますようお願い申し上げます。
5	【ふれあいプール終了の件について】 近年、小学校のプールの授業は、猛暑などの影響で、授業数がだいぶ少なくなっています。そのうえ、ふれあいプールが無くなってしまっ、スポーツ少年団、水泳教室ができなくなっしまえば、皆野町の子供達は泳げるようになる子は極端に減ってしまします。水難事故が毎年起こっている中で、泳ぐことができない子供を増やしてよいのでしょうか？ 夏休み中など、天候を気にせずプールに行ける今の環境は、とてもすばらしいと思います。この状況を子供達から奪ってしまっよいのでしょうか？	ご指摘のとおり、温水プールの終了は子供たちの水泳機会の減少を招くと思慮されます。 町といたしましては、2月10日付の児童・生徒の保護者様宛の通知や3月の町民説明会でも申し上げたとおり、小学校における水泳授業は猛暑対策を講じて引き続き実施し、子どもたちの泳力向上を図ってまいります。併せて、温水プール終了後の皆様のサポート体制を検討してまいりたいと考えております。
6	【ふれあいプール・ホットの継続について】 皆野町水泳スポーツ少年団のイルカクラブ（水金）でお世話になっています。皆野小学校の1年生です。ほくが、なぜプールを始めたかという好きなのはもちろん自分が溺れない為と人が溺れていた時に助けられる人間になりたいからです。人が溺れていた時に助けられなかったら後悔すると思ひプールを続けて行きたいと思っていますので、ふれあいプール・ホットを継続してください。 お願いします。	おぼれた人をたすけられる人になりたい、という中島さんの気持ちはとても大切です。とてもかん心しました。わたしは、そういう気持ちで水泳いをつづけたいと思う人をおうえんしたいと思っています。 ふれあいプール・ホットは、古くなくにつづけることがむずかしくなっています。中島さんは、どこで水泳いをつづけたいのですか。おとなの人につたえてください。こいけん、ありがとうございました。 可憐さんの保護者の方へ。 このたび、今後の町の施策のあり方等諸般の事情一切を考慮して、温水プール廃止の決断をいたしました。小学校における水泳授業は猛暑対策を講じて引き続き実施し、子どもたちの泳力向上を図ってまいります。併せて、温水プール終了後の皆様のサポート体制を検討してまいりたいと考えております。

みなのご意見箱に寄せられた意見と町の回答（令和５年４月～９月）

番号	提言等の要旨	回答要旨
7	【町政のありかた（ふれあいプール）について】 ここ数カ月の言葉の響き、意味などを振り返って見ると、「閉鎖」、「検討」、「一億円」、「方針決定」、「終了」などとても強い心に残る言葉であり、閉鎖的なマイナスのイメージを与えるものだと思えます。 話し合いの第一段階が「閉鎖」、「検討」から始まっています。 「ふれあいプール」に関して言えば、話し合いの第一段階は、町サイド、プール利用者、町民等が参加したものでなければならないと思います。「ふれあいプール」の現状を多数の目で確認し、対応を話し合うことから始めるべきです。今回の流れは異常とも思えます。もっと丁寧に、わかりやすく物事を進めて行く姿勢が町サイドには必要です。 今からでもやり直せます。初めからやりましょう。町サイド・町民・プール利用者が納得できる解決策を模索していきます。幸いにも私たちは民主主義社会の一員です。会話を繰り返し、話し合いの機会を自由に持つことが出来る環境にあります。	方針決定、説明会までの流れがおかしいのでは、とのご指摘は真摯に受け止めております。 昨年の6月議会において、副町長並びに教育長が「存続の在り方については、今後総合的に検討する」旨答弁して以来、町として存続以外の可能性も含め検討してまいりました。こうしたなか、11月に天井材の一部が落下するという事故が起こりました。私はこれを、施設の安全性を脅かす事象の予兆と捉えました。安全性への懸念を払拭するために、多額の経費がかかります。そして多額の経費をかけ改修を行うということは、これまでと同様に数千万円にも及ぶ収支不足を今後も継続することを意味します。そこで私は、今こそが運営継続か終了かの判断が必要と考え、決断をしたものでございます。 今後は、温水プールご利用の皆様とプールの現状等を共有するとともに、温水プール終了後の皆様のサポート体制を検討してまいりたいと考えております。
8	【町内放送の終わり方は「防災皆野」ではなくてはならないのかについて】 これは、上部団体（県など）の要請によるものと思いますが、いつもいつも、毎回毎回同じではマンネリとなり新鮮味が薄れます。 繰り返しによる意識づけの重要性も認識していますが、また山国秋父にあって防災の重要性も理解しています。 「防災資料」をより町民に理解してもらうためにたまには別のものを利用したらどうでしょうか？ 1. 笑顔あふれる町 皆野 2. 誇りが持てる町 皆野 > 使いづらい？ 3. 魅力あふれる町 皆野 町放送分は「防災皆野」でも、小学生は別のものの方が教育的にも良いと思いますが。	防災行政無線の「防災皆野」についてですが、電波法により、「無線通信を行うときは、自局の識別信号を付して、その出所を明らかにしなければならない」という決まりがあります。 また、防災行政無線は、必要最低限の情報を正確に伝えるものであるため、町の意向としとしても、最初と最後に「防災皆野」を流すことにより、出所を明確にしております。
9	【閲覧板用のバインダーの改良について】 現在、使用しているバインダーは上にクリップが有ります。中に納まっている文章は全く横開きです。 読んでみようかと思いますが、上クリップにタイトルや発行団体等が見づらくスルーしてしまいます。大切な内容なら上クリップからはずして読後に他の物とそろえて納めますが、とてもやっかいです。 是非、横クリップのバインダーにして下さい。	閲覧板用のバインダーは現在総務課に在庫があり、今すぐに改良することは考えておりません。新たなバインダーを購入する際には参考にさせていただきます。
	【密室で重要事項を決めるについて】 町長に於かれましては、この議会制民主主義をどのように理解しているのか？専制政治になりかねない重要な問題です。その真面目にお答えください。また、このプール存続が該会で可決された場合は白紙撤回しますか？もし、しない場合その理由を教えてください。	議会制民主主義は、選挙で住民の代表（議員）を選んで行政について議論し、決定する制度と理解しております。 そして、地方自治体では、首長と議会議員ともに住民が直接選挙で選ぶ二元代表制をとっており、ともに住民を代表する首長と議会が議論を重ねながらより良い行政の推進に取り組んでおります。 このたびの温水プール運営終了の決定は、プールを利用する方、しない方、子どもたちからお年寄りまで、教育、福祉、これからの町のサービス全体の在り方を考えたとき、将来の町政に責任ある立場として、決断すべき、決断せざるを得ない選択であったと考えております。 プール存続が議会で可決（温水プールの廃止が否決）された場合は白紙撤回するののかとのご質問ですが、仮定のお話にお答えすることは差し控えていただきますが、今後も議員の皆様との議論を重ねる中で、理解を得てまいりたいと考えております。
10	【話題に乏しい皆野町について】 ① 町長が身を削り、営業マンとして取り組んでいることはありますか？ ② 今後町の目新しいイベントがありますか？ ③ 荒川をご覧になった印象を教えてください	回答① 1年をとおして開催される様々な自治体、団体との会合、イベント、行事等において、参加者の皆様と積極的に交流し、皆野町の営業マンとして、町のPR、取組の紹介に努めております。今年度は、まずはそれら年間約50万人。秋父町の550万人、長瀬町の300万人を大きく下回っており、知名度においても後塵を拝しております。 今後も、より一層皆野町のPR、情報発信の充実に取り組んでまいりたいと考えておりますが、大切なことは、知名度が上がることでなく、それによりいかに町民の皆様の豊かさが向上するかです。PRの先にある「笑顔あふれる町づくり」をしっかりと見据えて取組を進めてまいりたいと思います。 回答② 新型コロナウイルス感染症の影響により、町の一大行事であり、伝統、文化でもある親父音頭まつりははじめ、ほとんどの行事、イベントが中止となる状況が3年間続き、その継承が危ぶまれております。今年度は、まずはそれらの行事、イベントをしっかりと復活させる。これまで慣れ親しんできたイベント、行事の開催を通して地域コミュニティ、人と人のつながりを取り戻していきたいと考えております。 それを基本としながらも、今年度は、町長就任後の新たなイベントとして、昨年度も大好評をいただいたワンコインステージを年2回に拡充し開催いたします。普段体験できない文化芸術を多くの皆様に体験していただきたいと考えております。また、5月に開催されたトレイルランニングの大会には、昨年度を上回る1000人を超えるエントリーがあり、皆野町の一大スポーツイベントとなりつつあります。主催者であるプロトレイルランナー奥宮氏には、新たに町の観光大使を委嘱させていただきました。官民連携を含め、今後も、様々なかたちで町の活性化に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。 回答③ 町を南北に流れる清流荒川は、豊かな自然、美しい景観の象徴と感じております。 親泉河原は、ライン下り、ラフティング等、リバーサイドレジャーも盛んであり、夏には親泉祇園の川瀬遊歩、また国の天然記念物である紅花石片岩もあり、町の貴重な観光拠点の一つと考えております。一方で近年の短時間に降る記録的な豪雨が頻発する現状にあつては、沿岸の地域住民の皆様、また関係機関とよく連携し、河川の氾濫、沿岸への浸水等への日ごろからの備えが必要と考えております。
	【多くの意見を町政に反映させたいについて】 実際あなたが行った民意からの要望・意見で実際実施して事はありますか？	町民の皆様からいただいた数多くのご意見の中に、「町の交通が不便である」とのご意見がありました。町の総合振興計画の策定に当たり実施した町民アンケートにおいても、皆野町に、「できれば住み続けたくない」「住み続けたくない」という理由で、最も大きな割合を占める結果となっております。そこで私は、2025年に、同様の世代が全員後期高齢者となり、自動車運転免許の返納が増加していく見込みであることも踏まえ、町民の皆様の暮らしの足の確保を喫緊の課題として、今年度、地域公共交通の見直しに着手いたしました。 また、住民を代表する議会のご意見等も踏まえ、子育て支援の拡充として学校給食費の無償化を実施したほか、消防団からの要望を踏まえ、消防車両の運転に必要な準中型自動車運転免許を団員の負担なく取得できるよう補助金を拡充するなどしております。 また、町はPR不足、情報発信が弱いとのご指摘に対しては、報道記者向けの定例記者会見を開始したほか、各種イベント等のプレスリリースの徹底を図り、その内容は町ホームページにも掲載しております。また、町広報紙の一部フルカラー化、町長コラムの掲載、町ホームページへの町長の活動記録の掲載、SNSによる随時の情報発信など、様々な取り組みでおります。また、皆様から多くのご意見をお寄せいただけるよう、このたび貴重なご意見をいただきました「みなのご意見箱」を設置いたしました。今後も、皆様からのご意見を幅広くお聞きし、より良い町政に取り組んでまいります。
	【行政改革に関してについて】 ・町長として行政改革を考えていますか？	行政改革は、町民ニーズ、また社会情勢の変化等に応じて、不断に取り組むべきものと考えております。 行政改革の目的は、行政サービスの向上であり、人口減少の進行による財政規模の縮小が見込まれる中において、質の高い行政サービスを効率的、安定的に提供していくためには、一つとしてDXの推進等による事務事業の省力化が不可欠と考えております。 デジタル化により、窓口に来なくても済む手続きを増やすなど、省力化を推進する一方で、高齢者など、対面での案内、説明が必要なかたへの支援を手厚くしてまいりたいと思います。これに限らず、日々の細かな改善の積み上げが行政改革であるとの考えの下、現場での皆様からの声を大切に職員と一丸となって取り組んでまいります。 ご提言の議員定数の削減については、町民の意見を町政に反映させていくためにどうあるべきかの点も十分に踏まえ、慎重に議論されるべきテーマと考えます。ご提言については議会と共有させていただきます。

みなのご意見箱に寄せられた意見と町の回答（令和5年4月～9月）

番号	提言等の要旨	回答要旨
	【6時に流れる秩父音頭に関してについて】 あの6時の夕刻に流れるに流れる音楽をやめてあのメロディーに代わる明日への活力に繋がるような音楽をお考えでしょうか？	6時に流れるメロディー（バイオリン演奏による秩父音頭）は、従来のエーデルワイスに代え、町にゆかりのあるものとして昨年11月から始めさせていただきました。 この間には、変えてほしいというご意見や、良いというご意見など、様々なご意見を頂戴しております。半年が経過したことから、今後はメロディーの変更を検討してまいります。
11	【文化会館ウォッシュレット化について】 町のトイレのウォッシュレット化は、庁舎だけでなく、プール施設など進んでいると思います。 ただ町の顔である文化会館の男性トイレは和式2、様式1（ウォッシュレットでない）でウォッシュレットではありません。 ウォッシュレットが万能とは言いませんが、一度検討してもらいたい。 年配者（障害者）に優しいトイレの実現を！	文化会館では、今年度ホールホワイエ（ロビー）のトイレ改修を実施します。男女トイレの洋式化とウォッシュレット化を進め、感染症対策として手洗い水栓の自動化を予定しています。
12	【温水プールについて】 公約について、町長選の時に柴崎町長はこんなことを言っていました。 「健康のための町づくり、プールや公園、美の山等を活用した健康作りの推進」 町長としては、当然、健康作りのため「プール」を活用するんだ。と強い意志の下に公約を打ち出したと思います。 思惑通り「プール」を活用している人の全体の約70%がいわゆる65歳以上の高齢の方々です。そしてこの年齢の利用者は、今後も増えてくると予測されます。 町長から出された、「温水プール運営継続廃止」は苦渋の決断であったかもしれませんが、しかし高齢者の方にとっては、プールは唯一の運動場であり、コミュニケーションの場であり、運動をしながら友人との会話を楽しむそんな場でもあります。 また、何らかの形で身体に不安を感じている人や、少しでも長く元気でいたい、家族に迷惑を掛けたくない、毎日笑顔で暮らしたい、そんな思いで利用をしている人は少なくないはずです。いわゆる、健康へのアプローチとしてプールを利用している人が殆どです。 このような人を町長として考えたことがありますか？健康を理由としてプールを利用している人が数百人いたら、この人たちの笑顔をあなたは奪い取ることになるのです。笑顔は町民みんなのものです。 お金が掛かることは、重々承知です。しかし努力をしている人たちが笑顔を取り戻すことが出来てこそ本当の笑顔の町づくりと言えるのではないのでしょうか？ 町長は、高齢者に対し理解を示すべきです。町の長として、人として、もう少しプール存続に関し理解を示してほしいと願うばかりです。柴崎町長ならこの問題を良い方向で解決をされると信じております。 どうぞ、自立している高齢者に愛の手を差し伸べてください。 Q：1 本日にプールは必要ないと思っていますか？	私は、これまで「プールは必要ない」と思ったことはありません。温水プール運営廃止の方針表明後も同様でございます。 ご承知のとおり、温水プールの運営継続のための大規模改修とその後の運営経費は、相当多額に上ります。一方で、町では、給食費無償化等の子育て支援の充実、高齢者や子供たちの足となる公共交通の見直しなど、新たな課題への対応を始めています。こうした事情を鑑み、限られた財源で町を運営していく責任者として、温水プール廃止という苦渋の決断に至ったものでございます。 温水プール運営廃止後は、他プールの利用補助を行うこととしています。これは、プールの意義や効能、必要性を十分理解しているからこそその施策です。 どうかご理解いただき、温水プール廃止後の町の支援や今後のまちづくりにについてご意見を賜りたいと存じます。
13	【熱中症による救急車出動増加について】 今年も最高気温が35度以上上がって熱中症警戒アラートが出されるほどの猛暑になり救急車の出動が増加傾向でした。気象庁はエアコンをつけるなど熱中症予防策呼び掛けていますが、しかし電気代を含め物価高の影響でエアコンを控える方もいたのでエアコン設置や電気代補助をするようにして欲しいです。部活動については危険な暑さのときは例外なく中止にするようにして欲しいです。	中学校の部活動では、暑さ指数（WBGT）が31度、気温が35度となった場合は、部活動を中止しております。 エアコン設置費、電気代の補助は、ご提案として参考させていただきます。
14	【「スズメバチ」駆除について】 約1ヶ月前我家にスズメバチの巣を発見 駆除しました。防ぐ服等を役場（町民生活課）から借用、使用させて頂きました。 防ぐ服は重く1人で着用するのは非常に大変でした。複数の人でやるのが普通だと思えます。 出来ればこれから高齢化の時代、役場の方が専門教育を受け安全に作業して頂ければ助かる。 これからは町民サービスも検討する必要があるのでは。スズメバチが皆野町へ来てスズメバチにさされた!!というニュースなど聞かないように!!検討して下さい。	蜂の巣駆除はたくさんの方から要望をいただいております。皆様には、現在、町として下記の2つの方法を提案しております。 ①防護服を町から借用し駆除をご自身で行っていただく。 ②自ら駆除することが困難な場合、専門業者に依頼していただく。 ※埼玉県害虫防除事業協同組合（048-854-4817） 現在、上記のように対応しており、ご自宅の敷地内にできた蜂の巣の駆除は、ご自宅の所有者様に行っていただいております。 防護服の着用が難しい場合は、②の町が紹介する共同組合を通し、業者へ連絡いただくことをお勧めしております。